

ちぶ

小さな島
みなファミリー
知夫里島



広報ちぶ



丸山島根県知事 来島

8月1日～3日に丸山達也島根県知事が隠岐地域を訪問し、現地視察や意見交換を通じて直接地域の実情を把握する「隠岐の日」が隠岐4町村で開催されました。

8月3日に知夫村のチブリテラス(コワーキングスペース・カフェ)を訪問し、YL17(株)が手がける放牧牛の位置情報サービス事業について伺いました。

Contents

- P.2～P.6 議会だより
- P.7 令和6年度決算報告／ふるさと納税の報告
- P.8～P.9 第26回知夫村花火大会 ご協賛御礼について
- P.10 令和7年度知夫村成人式／第67回村民体育祭
- P.11 皆一踊り／新人職員紹介／第54回 関西知夫会総会
- P.12 戸籍コーナー／令和7年度自衛官等採用案内



議会だより

6月定例会概要

一般質問

山本英樹議員

Q1 関係人口の 取り組みについて

二拠点生活者による、ホテルをはじめ担い手としてのお力添えをいただくなど、持続可能な村づくりに貢献をしていただいております。人口減少に伴う関係人口の取り組みについて、村長の所見を伺います。

村長

本村においては、これまで観光振興による交流人口の拡大のほか、小中学生の島留学や大人の島留學生の受け入れに加え、ふるさと納税の活用等による関係人口の創出・拡大を図ってまいりました。

現時点でのこれらの取り組みに対する私の評価は、いずれも一定の成果が出ていると考えておりますので、今後とも引き続き取り組み、移住・定住人口

の増と交流人口の拡大に繋げて行きたいと考えております。

Q2 大人の島留学制度の 取り組みについて

全国各地の若者が隠岐島前地区で暮らし、働くことを通して、最前線の現場における課題解決や新たな価値を作っていくことで島のまちづくりを担う制度で、担い手不足に大きな貢献をいただいております。ホテルをはじめ人手不足に大きな力添えをいただいていることより、参画者自身の目的達成を果たせる制度の取り組みが行わなければならないと考えますが、制度の取り組みについて、村長の考えを伺います。

村長

島内の多くの事業所等が人員不足により運営に支障をきたしている現状がございますので、もっと多くの大人の島留學生を受け入れたいところでございますが、住宅が不足しており今以上の受け入れが難しい状況であります。

村民の皆様、議会の皆様方におかれましては、お貸し頂ける住宅の情報がございますしたら御一報頂ければ幸いです。思います。

一方で「大人の島留學生自身の目的の実現」という制度自体の目的もございまして、そういった点にも配慮しながら、主管する島前魅力化財団と連携を図り、派遣先等へのマネジメント体制充実を図りたいと考えております。

村と致しましては「留学期間終了後も本村に住み続け、働き続けて欲しい」という思いがありますので、「島留學生自身が目的としていること」と「村が必要としていること」の両立をどのように実現するかを模索し、双方が納得する形での事業となるよう努めたいと思います。

Q3 国土保全の 取り組みについて

人手不足による隠岐汽船運航船減便は、観光をはじめ、島民の死活問題であると同時に国防に直結する問題であり、国直轄運航路支援による人手不足の解消を図る必要があると考えられます。国土保全の取り組みについて、村長の見解を伺います。

村長

隠岐汽船の船員不足によるフェリー減便については、人流・物流をはじめとして隠岐諸島・

全島民に広範な影響を及ぼすことから、現在、関係機関で協議を重ねるところでございます。国防航路としての国直轄の運航航路という捉え方での支援につきましては、具体的にどういった支援を求めめるのか、どのような提言・要望が出来るのか、支援自体が適切なのかなども含めて研究する必要がありますので、この場でのお答えは控えさせていただきます。

一般質問

川本息生議員

Q1 子育て世代政策について

島根県のサイトには、若年齢層の割合が載っており、2019年が人口627人に対して9・41%の59人で、2024年は人口590人に対して10%の59人です。人口が減少しているにも関わらず子供の数は変わらないという普通ではあまりない統計になっています。このような割合になっている要因は何か行政として調査されて結論を出しているのでしょうか。もしまだであれば、子供を持つ夫婦にアンケート調査を実施し子育てのしやすさ

をより効果的に伸ばす政策や子供の多い家庭特有の障壁に向けた政策を作成することが必要です。それだけではなく、第3子4子を持つ家庭が多い要因が分かれば、子育てをしていきたい島外の方へのアピールポイントとなります。このような調査、新たな政策について村長の意見を伺います。

村長

「多くの子供がいる家庭が多いこと」及び「人口に占める若年者層の割合が高いこと」についての分析は行っておりませんが、子育て家庭の現状とニーズを把握するための教育・保育・子育て支援に関する「現状の利用状況」や「今後の利用希望」について昨年12月にアンケート調査を実施しております。

本村の子育ては、育児奨励金や保育園児の副食費無料化等の制度、小中学校とも少人数クラス編成で全員にしっかりと目を配る教育体制、「島全体・地域全体が子供を育てる、見守る」環境等が「安心して子供を産み・育てる」効果を生んでいるのではと思っております。

今後、今まで同様に定期的なアンケート調査を実施し、子育て世帯の現状とニーズを把握しながら、必要に応じて取り組みに努めたいと思います。

Q2

待機児童問題について

今年より本村では待機児童が発生し今後増える可能性があります。今後保育園の受け入れ態勢の拡充に向けた対策も重要ですが、待機児童を抱える保護者に対して代替のケアが喫緊の課題だと考えています。何よりもスピーディーな対応が求められる事案ですので、今後どう対応していくのか、村長の意見を伺います。

村長

今回の待機児童問題については、村民の皆様、特に子育て世代の皆様には、大変ご迷惑とご心配をおかけしていることに申し訳なく思っており、この問題の早期解消に向け努めているところでございます。

来月7月1日より「ちびり保育園」の会計年度任用職員保育士の一人が正規職員として勤務することになりました。とは言え、将来的な事を考えますと保育士確保は必須と考えますので、今後も保育士募集を継続し、保護者の皆様にご不安を与えることのない安定的な保育園運営に努める所存であります。また、以前、取り組んでいた子育て支援員による「ファミリーサポート

センター事業」等を再整備する必要があると思いますので、それに向けた検討をしたいと思います。

一般質問

石橋 良行 議員

Q1 学校体育館の空調整備の件について

国は、災害避難所となる学校体育館の空調整備を2倍にして、今年度からは、光熱費についても地方交付税措置がなされる予定とされています。

本村の学校体育館も避難所を兼ねており、検討する必要があると思うが、村長及び教育長の考えを伺います。

教育長

学校の教育活動における体育館の空調整備の必要性につきまして、昨年は、昨年6月議会での答弁と同じです。例年6月中旬に行われておりました島前小学校バスケットボール大会が今年度より中止となり、それに伴う練習等、熱中症の発生しやすい時期に体育館の使用頻度が下がったことをお伝えします。

村長

災害対応の観点から空調設備の設置が必須であれば設置する方向で検討することになります。が、設置義務が示されていない現状、村の財政状況を鑑み、緊急性の高い事業である「長尾線落石防止対策事業」等から取り組むという村の方針に添い事業展開したいと考えております。

なお、ご質問の学校体育館の空調整備については、村の将来を見据えた中、長期計画の中で設置について検討することは可能だと考えますので、その方向で検討したいと思っております。

Q2

防災・減災対策について

今までは、山林及び雑木が雨の流れを抑制していたが、農道が誘導路となり、一気に里へ流れていく可能性があります。仁夫地区・古海地区の大雨・洪水に対する防災設備、例えば、里の上流部に堰（ダム）の類のものを備える必要性があると思いますが、村長の考えを伺います。

村長

ご質問のふるさと農道下流に位置する古海地区に於いては3か所、仁夫地区の横尾地域には

2か所の堰堤が今迄に築かれております。また、それに伴い設置者である島根県によって定期点検や維持修繕が必要に応じて実施されており、現在も其の機能は保たれているところです。

今後、発生することが予想される豪雨やそのリスクに対する備えとしては、県による堰堤の定期点検等に加え、村独自の「法面の継続的な整備」や「側溝の定期的な点検・清掃」等の実施による機能保持を図る等の対策を執ることとしております。

Q3 空き家対策特別措置法について

大江地区の公道沿いの空き家に設置されているブロック塀について、上2段のコンクリート接着が割れ、危険な状況になっている。

公道に倒れた場合、村が撤去することになると思われるが、如何か。又、通行人に被害が及んだ場合、誰が、どう補償するのか。村として、先に処理する必要があるか。村長の考えを伺います。

村長

大江地区の空き家のブロック塀については、村としても倒壊の恐れのある危険箇所という認

識は持つておりますが、所有者が亡くなられていることや法廷相続人が村内に居られないこと等の理由からなかなか前に進めてない状況であります。

村と致しましては、現在、ブロック塀撤去に向け村外に居られる法定相続人と連絡を取るために連絡先を調査しているところでございます。

なお、仮に公道に倒れた場合は村で撤去することになろうと思っております。そのような事態になる前にまずは法定相続人と連絡を取り、撤去するよう働きかける考えはありますが、もし法定相続人と連絡が取れない場合や撤去に応じない場合には、行政代執行も視野に入れた対応を取らざるを得ないと考えます。

代執行にあたっては、様々な法律や条件、他の空き家との差別化等を慎重に考慮した上での対処となるかと思っております。「行政代執行の対象物件の選定・限定等について」関係機関等にご意見を賜りながら取り組みたいと思っております。※紙面の都合上、質問や答弁の内容を省略しております。詳細については、議会事務局で閲覧が出来ます。

議会だより

9月定例会概要

一般質問 山本英樹 議員

Q1 知夫村のシンボルづくりについて

知夫村において村の花や木などのシンボルを持つことで、自分たちの住む村への誇りを持つことができると考えます。現在、知夫村は青年団の復活、有志による花火大会、子育て支援など「自らの地域は、自らの手で守り育てる」という機運に満ちています。更なるシンボルづくりにより、住んでみて居心地の良い村の発展を推進する原動力となる重要なツールである知夫村のシンボルづくりの取り組みについて、村長の見解を伺います。

村長

野だいこん祭りが青年団主催で復活したり、花火大会が住民有志自らの手で行われるなど、村の活気や熱量は上昇傾向にあり心強

く思っているところです。

一方で、知夫里島には花や木、鳥以外にも赤ハゲ山や赤壁、放牧風景、海産物など、村独自の魅力が数多く存在しておりますので、シンボルの必要性やそれをもたらす効果や目的などを慎重に判断する必要があると考えますので、然るべき時期に村民の皆様方のご意見を聞いた上で判断したいと思えます。

一般質問 並河孝成 議員

Q1 ゴミの分別方法について

知夫村では段ボール、新聞紙、雑誌類は粗大ゴミに分類されており、本来これらは資源リサイクル類に分類されます。これらの分類方法についてのお考えを伺います。

また、粗大ゴミとリサイクル類の置き場が同じで混雑しており、出し入れが大変と思われませんが、対策方法はどうか、村長に伺います。

村長

本村ではダンボール・新聞紙・雑誌類は粗大ゴミに分類し、本土の専門業者に処理を委託して

おります。海士町や西ノ島町のように島内でリサイクル資源として加工してから本土の業者へ販売するという方法がございしますが、紙類をリサイクル資源に加工するには、ストックヤード等の施設や新規に圧縮機器を購入する必要が生ずるほか、作業に携わる人材の確保が必要となりますので、現状では難しいと判断しております。

また、既存の焼却炉は処理能力が低く、本村の財政状況や人材確保といったことも併せて考えますと現段階では、現行の処理方法が現実的だと判断しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

粗大ゴミとリサイクルゴミ置き場が同じという点につきましては、それぞれのゴミを出す曜日を別々に設定しておりますので、同一の日にゴミが混在する事は無いものと考えております。また、ゴミ収集場所は狭い所が多く、別々にゴミ収集場所を設けることは難しい状況にあることを御理解いただきたいと思っております。

Q2 忠霊塔一帯の整備について

今までも幾度か、公園化やアクセス

道路づくりの話もありましたが、今はそれも無くなっている状態です。

大山隠岐国立公園、隠岐世界ジオパークの指定地域でもあり、観光客も訪れます。この周辺の環境の整備も急務と考えますが、村長に伺います。

村長

令和5年度に一宮神社裏に向けたアクセス道整備を検討したところですが、予定地周辺の地中を流れる湧水の処理方法が難しいことや費用対効果等の事由から、国庫補助金等の有利な財源を充てるのが極めて難しくなり、アクセス道整備計画は暗礁に乗り上げているところでです。

村と致しましては、特定の民有地や神社仏閣等を対象とした環境整備は地域やボランティア等による清掃活動によって対応していただくことが最も望ましいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。

一般質問

川本息生 議員

Q1 児童生徒への島外活動支援について

小中学生を対象としたスポーツや文化

的活動の大会への支援が知夫村にはなく、離島のハンデが生まれています。こうした児童生徒への支援をおこなうことで移住定住の促進に繋がると考えます。学校主導以外で児童生徒が出場を望む大会への支援はなく、離島という距離的または経済的ハンデから子供達の将来性に対する機会損失であります。

すべての課外活動において支援するべきではなく、大会の規模や公式性のボーダーラインを決めてある程度の線引きも必要であります。

離島のハンデを埋めてあげるための生徒児童への支援を検討する意思があるのか教育長に伺います。

教育長

現在、知夫小中学校で行われている課外活動の費用は全額公費負担で行っております。また、過去において部活動に加入せず個人でスポーツ活動を取り組んでいた生徒に対しては、中体連主催の大会の費用は公費で支援していましたが、それ以外の支援は現在行っておりません。

今後、部活動の地域移行等がさらに進んでいくと他地域の学校やクラブチームに所属して活動することが増えるのではないかと考えられます。

全てを支援することは困難ですが、

知夫の子供たちのスポーツ活動や文化活動での支援を行っていきたいと考えております。

Q2 職員採用について

職員の離職や業務の増加と多様化により役場運営の不安定化に懸念がありました。知夫村役場職員の採用も積極的に言い、役場運営の安定化を計られてきたと思います。その上で、有資格者という希少な人材の採用の間口を広く取るためにも半官半Xもできる採用を取ると考えます。

今後、半官半Xだけではなく採用の間口を広げる取り組みを行なっていくのか村長に伺います。

村長

近年、職員の離職が続いていることから、村と致しましては、計画的な職員採用や業務改善等に取り組み、体制の安定化を図れるよう努めているところでございます。

また、専門資格を要とする人材を確保する事は全国的にも難易度が高い状況にありますので、採用年齢を上げる等、採用窓口を広げると共に、応募があった場合には随時、採用試験を実施

できる体制で臨んでいるところです。

「半官半X制度」につきましては、職員が何処まで民間事業などにかかわれるのか、公務員に課せられている義務や禁止事項との整合性をどう捉えるのか、など、慎重に検討しなければならぬ項目がございますので、導入の有無についての答弁はこの場では控させていただきます。

一般質問

石橋 良行 議員

Q1 県道の落石・崩壊 危険箇所点検について

例年、県道知夫島線の危険箇所の定期点検を、年末から年度末にかけて実施しているが、毎年同じことを繰り返すだけで、危険箇所はそのまま変化はない現状を鑑みるに、県に任せっぱなしのように見受けられる。

将来に向け、安全で安心して通行可能な形容にすべく、県に対し要望すべきと思いますが、村長の見解を伺います。

また、危険箇所は拡幅の狭い道でもあり、出来る事なら側溝に蓋をして貰えば、より安心して走行できる様になるので、併せて要求すべきと思うが、

如何でしょうか。

村長

島根県によりますと、県道知夫島線の定期点検は、対策が必要と思われる箇所については毎年、それ以外の箇所については5年1回程度行っており、点検の結果、危険度や緊急性の高い箇所を発見した場合は、早急に可能な規模で落石除去や土嚢の仮設置等の安全対策を講じた後、測量設計を実施して順次対策工事を行っていることとあります。

危険箇所や狹隘箇所については、速やかに改修工事等を実施していただくよう、島根県土木部長に対して要望を毎年行っているところです。

なお、既存の側溝はコンクリート製の蓋等をのせることはできない構造となっているため、側溝自体の改良か道路の拡幅を含めた本格的工事が必要となりますことをご理解いただきたいと思えます。

Q2 公有財産（土地）建物の 計画的処分について

今、住宅不足で住宅建設を計画的に進めています。不要になった建屋の廃棄は後回しになっている現状なの

で、スクラップ&ビルドを並行して計画的に進めてはいかかと質問します。

壊すべきは壊し、再利用すべきは、早急に手を加えないと「ゆるやかな震災」を待つばかりになります。今後、どの様に対処するつもりか、村長の見解を伺います。

村長

村有財産である土地や建物の計画的処分あるいは再利用については、建物の老朽化や安全性の観点からも必要であると認識しておりますが、工事等に必要なる財源を確保するには、国・県の補助金等を活用できることが第一条件と思っております。本村では緊急性が高い事業、例えば道路改修、砂防対策、崖崩れ防止対策等、地域の安全確保や生活環境維持を図る事業を優先的に取り組んでいるところであります。

財政に余裕があれば、早急にも実施したいと思えますが、そういった状況であることをご理解いただけますようよろしくお願い致します。

Q3 地域防災計画について

島根原発で災害等あった場合、知夫

村の放射線濃度が基準値以下であれば、他の隠岐3町は、確実に基準値以下であるが、測定するものはどこにもありません。東日本大震災においても、圏外の飯館村で高濃度の数値が計測されたように、具体的数値を計測する装置を設置すべきと思いますが、村長の見解を伺います。

村長

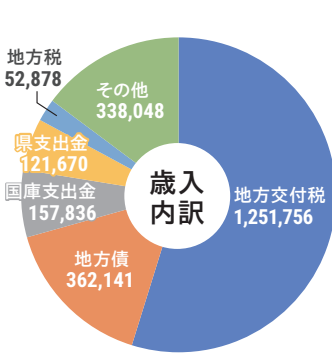
隠岐諸島で最も島根原子力発電所に近い本村にモニタリングポストが設置されていない現状をどう捉えるか、であります。

村といたしましても安全・安心の実効性を高めるための客観的データによる監視体制の必要性はあると思えますが、その前に「なぜ一番近い知夫村に無くて、一番遠い隠岐の島町にあるのか」「どういった基準で設置されるものなのか」などを島根県に伺った後、モニタリングポスト設置の要望の是非について判断したいと思えます。

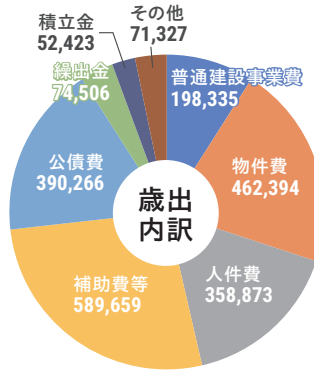
※紙面の都合上、質問や答弁の内容を省略しております。詳細については、議会事務局で閲覧ができます。

令和6年度 決算報告

■ 一般会計決算額

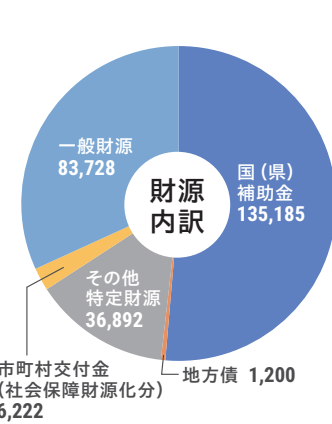


地方交付税	1,251,756
地方債	362,141
国庫支出金	157,836
県支出金	121,670
地方税	52,878
その他	338,048
計	2,284,329

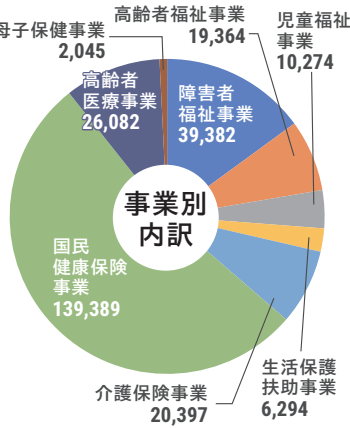


普通建設事業費	198,335
物件費	462,394
人件費	358,873
補助費等	589,659
公債費	390,266
繰出金	74,506
積立金	52,423
その他	71,327
計	2,197,783

■ 社会保障施策経費決算額



国(県)補助金	135,185
地方債	1,200
その他特定財源	36,892
市町村交付金(社会保障財源化分)	6,222
一般財源	83,728
計	263,227



障害者福祉事業	39,382
高齢者福祉事業	19,364
児童福祉事業	10,274
生活保護扶助事業	6,294
介護保険事業	20,397
国民健康保険事業	139,389
高齢者医療事業	26,082
母子保健事業	2,045
計	263,227

■ 知夫村一般会計の基金について

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使う村の貯金を基金といいます。

基金には、財源不足を補うための「財政調整基金」や地方債の返済を計画的に行うための「減債基金」、そのほかに特定の目的のために積み立てる特定目的基金があります。

令和6年度末現在高 (百万円)

財政調整基金	284
減債基金	119
その他特定目的基金	74

ふるさと知夫寄附金(ふるさと納税)のお礼

令和7年度の企業版ふるさと納税として株式会社ワールド測量設計様、株式会社共立エンジニア様よりご寄附を頂きました。

令和7年6月10日(火)にお礼状の贈呈式を開催し、株式会社ワールド測量設計 代表取締役 和田晶夫 様へ平木村長から感謝状を贈呈致しました。

令和7年7月1日(火)にお礼状の贈呈式を開催し、株式会社共立エンジニア 代表取締役 奥田真二 様へ平木村長から感謝状を贈呈致しました。

株式会社ワールド測量設計 様、株式会社共立エンジニア 様 ありがとうございました。

知夫村では企業の皆様からの企業版ふるさと納税寄付金を受け付けております。ご寄附についてのご相談などは、地域創生課までお問合せください。



第26回 知夫村花火大会 ご協賛御礼について



村民の皆様をはじめ、出郷者の皆様、島内外の企業・事業所・団体の皆様の温かいご支援とご協力により、沢山の寄付が集まり、8月14日に第26回知夫村花火大会を開催できましたことをご報告いたします。

まず初めに、この花火大会に賛同し、積極的なご協力と多大なるご支援を賜りました皆様に、知夫村花火大会実行委員会を代表し、心から感謝申し上げます。

花火大会当日は天候にも恵まれ、約200発の花火を無事打ち上げる事ができました。今年もたくさんの方々が観覧に訪れてくださり、お盆開催ができましたことを大変うれしく感じました。

来年もたくさんの方々に楽しんで頂ける大会を目指してまいりますので、何卒、皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

知夫村花火大会実行委員会 実行委員長 矢田 豊

協賛者一覧

～ご協賛誠にありがとうございました～

企業・事業所・団体の皆様

(株)金田建設

(株)共立エンジニア・(株)ワールド測量設計・口村左官

山陰クボタ水道用材(株)・西ノ島建設(株)

レッドフェニックスインベストメント(株)・C-cowherd

(株)エイティーエム・合同会社島守ちぶり

徳田水産・(有)木村組・福友渡船

西谷商店・あさひや商店・江川豊店・隠岐國商工会

オーケーリース(株)松江東営業所・(株)藤井基礎設計事務所

協同組合 YADDO 知夫里島・軽食喫茶ニューポート・古風の宿孤島

小料理屋どんどん・知夫石油店・ちぶり島海の家・知夫里島観光協会

浜田屋設備・福友荘・古谷水産・萬商店・焼肉あさひや・Chez SAWA

JFしまね浦郷支所知夫出張所・YL17(株)

松養寺・電化ショップ横川・ラゾーナひだまり・El camino de chiburi・小新畜産・小新屋本店

創作家庭料理のお店おっかさん・プライベート空間壺番館・レンタカーこしんや

後援・運営協力

知夫村青年団

協賛者一覧 ~ご協賛誠にありがとうございました~

村民の皆様 143名

●青柳 道子	●鹿島 貴代	●崎 博一	●田中 シマ代	●南家 隆史	●増田 節子	●山本 志津香
●吾郷 均	●鹿島 信光	●崎 松枝	●田中 理絵	●新實 厚	●松下 功	●山本 周一
●荒木 高成	●加藤 輝士	●崎本 明彦	●谷 君夫	●西村 清芳	●松本 大和	●山本 修司
●安藤 和代	●金築 タルエ	●崎山 次朗	●谷 祐二	●西村 節夫	●三浦 正裕	●山本 進
●安藤 晋治	●嘉見 和生	●崎山 清市	●堂下 勝也	●能海 観水	●道川 英二	●山本 隆
●安藤 宏伸	●亀山 喜富	●崎 隆二	●堂下 友見	●能海 千文	●道川 一史	●山本 富美子
●池田 恒祐	●川口 晃輝	●佐々木 翔	●徳田 貴美江	●野田 浩正	●道畑 美千代	●山本 真由美
●石橋 久子	●川本 博樹	●敷 正彦	●徳田 美紀子	●橋根 鉄	●向濱 樽幸	●山本 峰代
●石橋 弘行	●櫛田 敦	●敷 祐子	●中井 瑞歩	●濱 誠吉	●村尾 真和	●横川 暁美
●井尻 義教	●櫛田 景史	●清水 清	●仲瀬 伸太郎	●濱 辰成	●ヤゴダヴォウオンセン	●横畑 定貴
●井尻 晃	●口村 将太	●下廣 幸将	●仲瀬 晴美	●日野 昇	●矢田 和雄	●横畑 陽子
●井田 龍一	●藏 元英	●下廣 幸雄	●永谷 幸絹	●平木 茂樹	●矢田 俊雄	●吉積 優凱
●隠木 太雅	●小木 幹生	●下廣 凌雅	●永谷 仁	●平木 登茂美	●矢田 菜奈	●渡部 静江
●隠木 哲朗	●小西 秀実	●鈴木 裕次郎	●永谷 瑞樹	●廣澤 照子	●矢田 満子	●渡部 真也
●大前 美月	●小西 実	●相馬 由美子	●仲野 昭男	●福山 孝行	●矢田 豊	●渡辺 智彦
●沖原 汎信	●小濱 清人	●高田 英治	●仲濱 伊勢吉	●福山 直人	●矢田 涼一	●渡部 信行
●奥川 美枝子	●小濱 孝幸	●田上 俊	●中濱 美和	●前田 秀典	●山岡 伸之	●渡部 麗華
●奥田 良樹	●小前 由男	●高山 裕右	●仲 真樹子	●前濱 誠一	●山田 浩幸	
●奥本 重夫	●小山 真弓	●竹川 敏徳	●仲 克忠	●前原 隆成	●山根 寛之	
●奥本 哲男	●崎 栄三	●竹川 睦枝	●浪花 紀四四	●前横 洋範	●山 穂	
●奥本 真	●崎 慎吾	●田下 充佳	●並河 睦夫	●増田 恵子	●山本 久美子	

出郷者・村外の皆様 81名

●安達 隆吉	●大西 政弘	●崎本 明秀	●仲野 哲守	●前濱 睦基	●室崎 隆司	●山田 義男
●荒木 邦洋	●奥川 春野	●崎本 春松	●永見 壽昭	●升田 千寿子	●安田 強一	●山本 春知
●荒木 益実	●奥本 直美	●崎山 哲守	●仲 幸夫	●松野 保利	●安田 銀子	●横畑 誠一
●飯田 大	●奥本 正秀	●澤谷 正八郎	●錦織 博	●松原 理智子	●安田 勇作	●吉谷 不美男
●井尻 清隆	●小原 八寿子	●志賀 リサ	●野上 清子	●真野 凱睦	●矢田 健二	●吉野 静江
●井田 進	●加藤 二士	●下濱 孝	●橋本 哲弘	●道川 義秀	●矢田 永郎	●脇坂 高光
●井田 靖人	●菊池 純一	●下濱 敏弘	●橋本 豊	●道川 隆太郎	●矢田 昇	●渡辺 幸代
●井出 勲	●木下 孝	●首藤 富美代	●濱 益守	●道畑 利夫	●矢田 道雄	●渡部 好秀
●伊藤 俊二	●黒田 徳子	●田中 静江	●東濱 千歳	●宮岡 靖司	●宿 信義	●匿名 1名
●稲木正城 一同	●小新 忠利	●塚本 潔	●日吉田 弥生	●宮谷 俊行	●山口 律子	
●井上 千恵美	●小新 哲司	●坪倉 貴三	●前田 俊実	●宮谷 紀行	●山田 一美	
●隠木 喜久雄	●小松 美幸	●堂下 修	●前田 幹徳	●宮谷 雅治	●山田 由美子	

※令和7年9月1日現在(五十音順・敬称略)

第26回 知夫村花火大会 会計報告書

令和7年9月9日

歳入の部

項目	金額	説明
前回繰越金	452,457円	
花火大会協賛金	3,197,200円	村民143名、出郷者・島外81名、事業所・団体43
利子	459円	農協預金利子
合計	3,650,116円	

歳出の部

項目	金額	説明
需用費	25,010円	花火打上げ講習会(弁当代、飲み物代) 17,655円 花火大会(飲み物代) 7,355円
使用料	5,000円	警戒船借上げ料 5,000円
役務費	60,150円	火薬類消費許可申請手数料 7,900円 運搬車航送料(フェリー運賃) 52,050円 収入印紙代(農協口座払戻し受領書用) 200円
委託料	2,927,300円	灰示花火(講習会費用) 388,300円 灰示花火(花火購入費用) 2,500,000円 資材運搬委託料(島根県運転手労務単価19,500円×2日分) 39,000円
支払手数料	19,961円	払込手数料(寄付金98口分※郵便局) 18,641円 振込手数料(花火支払分※農協) 550円+770円=1,320円
通信費	12,720円	郵送通知料(ゆうちょ銀行受入れ、払出し通知、郵送通知月額料 計41件分) 8,360円 郵送料(煙火消費保安手帳) 430円 郵送切手代(島外者・島外事業所郵送分) 110円×16枚=1,760円 印字サービス料(郵便払込用紙) 2,170円
その他	5,000円	出郷者寄付の内、知夫村に対して広報代として寄付があったもの。(1名)知夫村会計管理者口座へ。
合計	3,055,141円	残金594,975円

収支合計 3,650,116円 - 3,055,141円 = 594,975円
594,975円は来年度の花火大会への繰越金

皆さんのたくさんのご協賛により想定よりも多くの協賛金が集まり、繰越金が多くなりましたが、来年度の花火大会にて大切に使用させていただきます。来年度も変わらぬご支援の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



令和7年度 知夫村成人式



古谷 有己さん

野中 陽さん

小木 万依佳さん

南家 涼子さん

神田 裕希さん

8月14日(木)に成人式を開催いたしました。式典では新成人一人ひとりが今後の抱負を発表しました。皆さんが大いに飛躍されることを期待しますとともに、新しい出発を心からお祝い申し上げます。

第67回 村民体育祭



9月27日(土)第67回村民体育祭が開催されました。当日は、晴天にも恵まれ、たくさんの村民の皆様に参加され、元気よく、楽しい体育祭ができました。

皆一踊りが一宮神社で奉納



毎年旧暦の8月15日に奉納される「皆一踊り」が、今年は10月6日(月)に行われました。

島の豊作を祈願した踊りで、「皆一様にお並びなされ」という歌詞から名付けられています。

当日は、晴天にも恵まれ、人々が輪になって、太鼓のリズムに合わせて緩やかに踊りました。

新人職員紹介



ふじ わら やす こ
藤原 靖子

看護師

※隠岐島前病院(西ノ島町)へ派遣

第54回 関西知夫会総会



令和8年度 関西知夫会役員【2025.10.20~2026.10.18】

- 【顧問】 平木 伴佳(村長)、崎山 次朗(仁夫)
- 【相談役】 高田 森邦(大江)、井田 進(仁夫)、道川 隆太郎(大江)、木下 孝(郡)
- 【会長】 下濱 敏弘(多沢)
- 【副会長】 井尻 清隆(仁夫)、笹田 晴彦(多沢)
- 【事務局長】 崎 俊朗(郡)
- 【会計】 山田 由美子(仁夫)
- 【会計監査】 梶谷 竜馬(仁夫)
- 【常任幹事】 矢田 道雄(郡)、横畑 誠一(仁夫)、春日井 つるえ(郡)
湯尻 千寿子(仁夫)、小松 美幸(郡)、貴田 ひとみ(古海)
笹田 志郎(多沢)、安田 和也(仁夫)、下濱 孝(多沢)
竹川 洋(薄毛)、宿 竜一(仁夫)、梶谷 建二(仁夫)
河井 由佳(来居)、原田 純世(郡)、寺田 笑子(大江)
以上(27名)

去る10月19日、大阪キャッスルホテルにおいて、第54回関西知夫会総会が盛大に開催されました。ご来賓の方々、会員の皆様合わせて107名の参加となり大いに盛り上がりましたので、その様子をご紹介します。

まず、11時30分から始まった第一部(総会)では、知夫村から平木村長、村議会の矢田副議長と山本議員、観光協会の小西事務局長他PR隊の皆様が、また島根県関係では、県議会の吉田議員、島根県大阪事務所の河野所長、近畿島根県人会の千家会長、そして関西隠岐人会役員15名と多数のご臨席を賜り、温かいご祝辞をいただきました。

また、役員改選では、会長に下濱敏弘氏、事務局長に崎俊朗氏が新しく選出され、下濱新会長が【元気な知夫会】を目指すよう力強く挨拶をされました。

そして、第二部(懇親会)は村議会の矢田副議長の乾杯の音頭で幕を切り、今年から始まった『長寿祝い』では、古希の知夫中学校第24期卒業生15名、喜寿の第17期生他5名、78歳以上のご長寿20名の皆様に記念品として、『播州米キヌヒカリ』が贈呈さ

れ、同窓会としてご参加いただいた24期生を代表して幹事の山本春知さんが懐かしくご挨拶を述べました。

そして、いよいよ恒例の隠岐民謡では、【西谷信ちゃん一座】と井尻副会長一行の共演に飛び入りも加わり隠岐民謡のオンパレードに大満足のひと時でした。フィナーレは盆踊りで幕を閉じましたが、同ホテルでの2次会(カラオケ・飲み放題)も51名が残り、懐かしい話で盛り上がり、ようやく17時30分に6時間の別れを惜しみつつまたの再会を期して、無事終了しました。

この関西知夫会に参加すれば、年に一度のわずかな時間ですが【ふるさとへの想い】が共有出来ます。また今年から始まった【長寿祝い】を重ねることによって元気で長生きの証にもなります。未永くこの会が続きますよう、来年は10月18日の開催でございますので、会員各位はもとより、知夫在住・その他の地域在住の方もぜひお誘いあわせの上ご参加をお願い申し上げます。

案内状の請求は、知夫村役場総務課へお気軽にお問い合わせください。

戸籍コーナー

(敬称略)

令和7年5月1日から
令和7年8月31日まで

結婚

おめでとういっしょにおめでとう

小野 照平 「大分県」
小前 優利子「郡」

おすこやかに

お誕生おめでとういっしょにおめでとう

猿澤 想乃(その)「仁夫」

保護者 父 祥
母 夏美

龜山 弥(あまね)「仁夫」

保護者 父 武志
母 有理

口村 夏望(かのん)「来居」

保護者 父 将太
母 晃子

やすらかに

心からおくやみ申し上げます

前濱 ハルエ(99)「薄毛」
出竹男(84)「仁夫」
道川 妙子(89)「大江」
宮本 トモエ(93)「古海」

金一封を
いただきました。
ありがとうございました。
ございました。

【広報郵送料】(敬称略)

・山田 義男 「大分県」
・道畑 利夫 「大分県」
・安達 隆吉 「松江市」
・清水 浩二 「兵庫県」
・酒井 雅子 「愛知県」
・関西知夫会



令和7年度 自衛官等募集案内

募集生	応募資格	区分	応募期間	試験期日・種目	会場	
一般曹候補生 (陸上・海上・航空) (男 女)	日本国籍を有し、採用予定月の1日現在、18歳以上33歳未満の者 ※32歳の者にあつては、採用予定月の末日現在において、33歳に達していない者に限る。	第3回	9/16(火) 5 11/21(金)	[1次] 11/29(土)	筆記試験及び適性検査 (Web 試験)	ご自宅で受験が可能です。
				[2次] 1/6(土)~1/13(水) のうち指定する1日	口述試験・身体検査	陸上自衛隊出雲駐屯地
自衛官候補生 (陸上・海上・航空) (男 女)				11/29(土)	筆記試験及び適性検査 (Web 試験)	ご自宅で受験が可能です。
				12/6(土)	口述試験・身体検査	陸上自衛隊出雲駐屯地
陸上自衛隊 高等工学校 生徒 (男子)	日本国籍を有し、男子で中学校卒業(見込み含む)17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者	推薦	10/1(水) 5 11/28(金)	1/10(土)~ 1/12(月)のうち 指定する1日	口述試験、筆記試験、作文、 身体検査	陸上自衛隊伊丹駐屯地
		一般	10/1(水) 5 1/15(木)	[1次] 1/24(土)	筆記試験(国語、社会、理科、 数学、英語)、作文	松江市・浜田市
				[2次] 2/14(土)	口述試験・身体検査	陸上自衛隊出雲駐屯地
自衛隊 奨学生 (男 女)	日本国籍を有し、大学・高専・専門学校などで理学・工学・文学(語学)または法学を専攻している学生で、 ・学部3年次または4年次、もしくは大学院(修士課程)在学中の者 ・卒業(修了)年度の4月1日時点で26歳未満(修士課程在学者は28歳未満) ・卒業(修了)後ただちに自衛隊に勤務する意思のある者	第2回	12/1(月) 5 1/30(金)	2/21(土)	筆記試験(①理学・工学:英語、 数学、【物理、化学から1科目選 択】、小論文 ②文学・法学:英 語、国語、【数学、世界史、日本 史から1科目選択】、小論文) 口述試験、身体検査及び適性 検査	全国主要都市

お問い合わせ先

自衛隊島根地方協力本部 松江市向島町134番10号

☎ 0852-21-0015

●村の人口(令和7年11月1日現在) 人口/ 573人(男:292人 女:281人) 世帯数/ 359世帯 65歳以上人口比率/ 44.9%

発行/ 知夫村 〒684-0102 隠岐郡知夫村1065番地 TEL 08514-8-2211 FAX 08514-8-2093 <http://www.vill.chibu.lg.jp>